

歯学部カリキュラムマップ

教育の目的

歯学部における教育は、高い倫理観、豊かな人間性、ならびに高い国際性を有する高度な専門知識と臨床能力を備えた歯科医師あるいは歯学研究者を養成し、口腔の機能改善と構築に幅広く貢献し、「口腔から全身の健康に貢献することを実践することができ、国際的にも活躍できる指導的人材を育成することを目的とする。

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
到達目標												
A 知識・理解												
人体、特に顎顔面口腔領域の構造、機能および機能制御機構を巨視的構造レベルから遺伝子・分子レベルまで階層的・統合的に理解し、説明する。			解剖学(6.5)・口腔生理学(9)・口腔生化学(7) 口腔解剖学(2) 口腔組織学1(1) 口腔組織学2(2)	発生学(2)	歯冠補綴架工義歯学(8)・小児歯科学(4.5)	歯冠補綴架工義歯学(8)・小児歯科学(4.5)・歯学総論3(2)	歯科保存学1(4)	歯周病学1(4)	口腔インプラント学(1)・部分床義歯補綴学(3)・障害者歯科学(2)・顎口腔外科学(4)・歯科矯正学(6)・歯科麻酔学(2)	人類遺伝学(0.5)		
人体、特に顎顔面口腔領域の発生、成長発達ならびに加齢変化を巨視的構造レベルから遺伝子・分子レベルまで階層的・統合的に理解し、説明する。			歯学総論1(2) (口腔細胞生物学)				歯科保存学1(4)					
人体ならびに顎顔面口腔領域に発生する感染症、疾患、形態・機能異常ならびにこれらに伴う障害をあらゆる生物学的側面から説明する。			口腔微生物学(6.5)		口腔病理学(9.5)							
各種検査、治療あるいは治療に用いられる薬剤、材料に対する生体の反応を理解し、それらの効果と為害作用、ならびにリスクを説明する。			歯学総論2(2) (PBL)		歯科薬理学(7)			口腔保健学(2.5)				
顎顔面口腔領域に発生する疾患、形態・機能異常ならびにこれらに伴う障害の予防、診断、治療に必要な検査法、診断法、治療法ならびに治療材料について説明する。					歯科理工学(6.5)	歯科理工学(6.5)・歯科保存学1(4)		口腔保健学(2.5)				
歯科医療および歯科医学研究を実施するための法的根拠、規律、規範、患者の権利、歯科医師の義務について説明する。						口腔画像診断学1(2.5)		環境衛生学(3)				
顎口腔領域の診療を行う上で知っていることが必要な全身疾患や、感染症などの症状等について理解し、歯科医療上の対応について説明する。					病態制御学(10)							
B 技能(B-1 専門的能力)												
患者の話に傾聴し、患者の訴えを共感的に理解する技能を身につける。								行動科学1(1.5)	行動科学2(2)	臨床予備見学 臨床シミュレーション 実習 臨床予備実習		
顎顔面口腔に発生する様々な疾患、形態・機能異常、ならびにこれらに伴う障害について、適切な検査法を選択して問題点を抽出し、診断する能力を身につける。								高年次基幹教育科目 (インフォームドコンセント・薬害・臨床倫理)				
顎顔面口腔の疾患、形態・機能異常、ならびにこれらに伴う障害に対して、患者の持つ社会的、個人的背景をも考慮しながら治療計画を立案する技能を身につける。												
歯科医学研究、歯科診療に用いられる各種薬剤、器材・器具、機器等を正しく取り扱い技能を身につける。						歯冠補綴架工義歯学(8)・小児歯科学(4.5)		歯科保存学2(2)・全部床義歯補綴学(4)	口腔インプラント学(1)・部分床義歯補綴学(3)・歯科矯正学(6)	歯科矯正学(6) 歯周病学2(2)		
一般歯科医として必要な基本的診療技能を身につける。												
各種卒業後専門教育プログラムにおいて、各種専門的歯科診療を学ぶための基本的技能を身につける。												
B 技能(B-2 汎用的能力)												
知識を統合的に把握する能力を身につける。				歯学総論2(2) (PBL)								
一般に分かりやすく、専門的知識、技術等を説明する表現能力を身につける。												
表現能力とコミュニケーション能力を鍛え、広く世界と交流する視点を養う。				歯学総論1(2) (科学と国際貢献)								
最新の科学情報、歯科医学情報、歯科医療行政関連情報を的確に収集する技能を身につける。												
英語を用いたコミュニケーション能力を身につける。												
診療に必要な情報を的確に患者から導出し、それを分析し、最良の診療に向けての的確な行動を取る能力を身につける。												
金属や樹脂などの微細加工技術を身につける。												
C 態度・指向性												
高い倫理観を有し、医療人として節度を保つ。また、自己管理を徹底し、自己犠牲と奉仕の精神を備える。												
患者の訴えを共感的に傾聴し、患者に分かりやすい説明により、適切なinformed decisionを形成する歯科医療を実践する。												
歯科医学のみならず、ひろく人文科学、社会科学ならびに自然科学についても興味を持ち、歯科医療の発展に貢献する。												
医療チーム・歯科医療チームの歯科医師としてチーム医療を支え、患者のQOL向上に貢献する。												
常に最新の歯科医療技術および知識を探索し、批判的に吟味し、新たな専門的知識・技術を身につけ、可能な限りエビデンスに基づいた歯科医療を生産にわたり実践する。												
歯科医学研究チームの一員として、自身の知識・技能を活用し、歯科医学の発展に貢献する。												
自らの診療能力を客観的に評価し、患者が適切な医療・歯科医療を受けられるように適切な情報提供を行う。												
歯科医療・医療を巡る社会経済的動向を把握し、地域の保健・医療・福祉・介護および行政と連携協力し、地域医療の向上に貢献する。												

歯学総論6(2)

歯学総論7(2)

歯科臨床実習(28.5)

歯学総論6(2)

アドバンス
臨床実習(2)